



1

オーストラリア パース渡航



ロットネスト島浜辺で

パースに渡航して（5月7～13日）

AC: 菅沼益子

「世界中が憧れる美しい街」と言われるオーストラリアのパースを、一度は訪れてみたいと思っていました。しかしいざ募集をすると私の意に反し、希望者が集まらず、新潟クラブの4名、新しく当クラブに加わった3名の、合わせて14名で渡航に漕ぎつけました。早秋のパースは天高く爽やか。青い空の下緑の公園が広がる美しい街で、豊かな自然が人々を和ませています。フェリーで30分沖合のインド洋に浮かぶ「ロットネスト島」は、白砂の浜にエメラルドグリーンとターコイズブルーの海が広がりその美しさに感激しました。気さくなパースのメンバーとの芝生の上でのランチや公園散策は、忘れられない楽しい思い出です。遠い異国の方ともすぐに打ち解け、帰る頃には旧知の友との別れのような寂しさが沸いてくるのは「フレンドシップ」の交流ならではの事でしょう。

悲しい囚人の島、ロットネスト島

田中満穂・正子

到着三日目の朝、鳥居さんのホストGlenysの車でGuildfordの駅まで行き、そこから電車に乗りロットネスト島へのフェリーが出ているFremantleに向かいました。FremantleからRottneest Islandまではほんの25分ほどで到着。真っ白なサンゴの砂で覆われた美しい島でした。島を一周する路線バスに乗り換えて、最初のポイントParker Pointに到着すると早速その白い浜辺と愛らしいQuakkaに歓迎されました。ボランティアガイドでもあるFFパースのGayに案内され、島の歴史や島特有の動植物を教えてくださいました。昔ロットネスト島はアボリジニ（先住民）達の囚人の島だったという。19世紀最初にこの島を監獄として使うために入植した英国人管理者はこのQuakkaを食用としていたとのことで、平和な現代との落差を感じました。



固有動物種 Quakka

初めての渡航

飯田 博子

西東京クラブに入会して3か月、私にとって初めての渡航。不安とワクワクが半分ずつの気持ちで羽田を飛び立ちました。長いフライトの後お昼過ぎに漸くパース空港に到着し迎えに来てくれたホストのIan & Geraldine Cook 夫妻と対面しホッとしました。翌日からパースの観光名所を巡る予定に加えWelcome Party、Dinner Host宅での夕食、Farewell Party と忙しくも楽しいあつという間の1週間でした。到着の翌日に訪れたCaversham Wildlife Parkは自然を生かした大きな公園の様な動物園でコアラ、カンガルー、ウォンバットや珍しい鳥など沢山の生き物と触れ合っ楽しんでました。晩秋のパースは気候も心地良く爽やかな風が吹き抜け動物たちものびのびと気持ち良さそうでした。滞在中には細やかな気遣いでお世話して下さいましたホスト、パースクラブの会員の皆様、とてもフレンドリーであつという間に親しくして頂いた西東京クラブ、新潟クラブのお仲間感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。



ホストIan & Geraldine Cook 夫妻と



ウォンバットを抱いた飼育員の方と

パース市庁訪問

工藤 澄子

パースと私のホームタウン鹿児島が姉妹都市だったと表敬訪問して初めて知り驚きました。薩摩藩の家紋がついている立派な甲冑、様々な薩摩焼が並んだギャラリーを歩きました。FFパースのメンバー、市役所の方達まで日本の南で田舎の鹿児島を訪れていたのです。鹿児島湾に海からそびえる桜島、インド洋に面して白砂が南北に続く緑溢れる美しいパース、45年の交流がありました。西東京クラブとのご縁も大切にしたいですね。



ホストGlenさん(左)大活躍のGaye市議員さん

アボリジニの感性に触れ感動

新潟クラブ 吉森 巖

以前パース出身の方からお話をお聞きし、夢を膨らませ、それ以来一度はパースへ行ってみたいと思っておりました。ご縁があって、菅沼さんから誘っていただき念願が叶いました。私は、絵を見るのが好きで、フェルメールのファンです。フェルメールの光と影の絶妙な描き方と対角線上にある絵が、アボリジニの描く絵だと思いました。アボリジニの絵は天空のキラメキ、地上の営み、地下の叫び、海の旋律を、彼らにしかない独特の感性で描いたもので、日本人には到底このような絵は描けません。音楽もしかりです。いずれも美術館でじっくりと生の文化に触れられ大変良かったです。何より、ホストのコリン&リンダにはお世話になりました。1週間家族の一員として、食事や、ゴルフ、ファミリーとのピクニックと心と心の絆を強めました。今度は新潟で再会しようと思いを誓いました。西東京クラブの皆さんお世話になりました。



アボリジニが愛用した舟用具



ホストのコリン、リンダと

ご挨拶

会長 高垣 孝

今年には新元号に変わるだけでなく、西東京クラブにとっても創立30周年という節目の年です。創立者の故佐原 勇氏が30年前に僅か数名で立ち上げた西東京クラブが、今や会員が40名を超える程に大きくなったことは大変喜ばしいと思います。西東京クラブがここまで成長出来たのも、歴代の会長を始め、多くの先達の努力と苦労があったことを忘れることができません。そこで創立30周年記念事業の1つとして、過去西東京クラブで渡航・受入の活動に貢献された、現在非会員の方々にも声掛けして、祝賀記念パーティーを開くことにしました。単に過去30年を振り返るだけでなく、新たな飛躍の出発点とし、多くの皆さんがご家族同伴で、30周年記念パーティーに参加されることを期待したいと思います。



会長挨拶

総会（2月3日(日)、ホテル町田ヴィラ）

副会長 虫明 陽子

インフルエンザの猛威が続く中、当日発熱なさった方と数日前に体調を崩された方は残念でしたが、列席32名、と総会員の8割弱もの参加はとても嬉しい事でした。世界中のクラブが抱えている悩みの中に「新会員の確保（高齢化などによる会員の減少）」・「会の活動の活性化（活動が停滞気味）」がありますが、今回のようにクラブ発足時からの会員～4名もの新会員という素晴らしい顔ぶれが揃い歓談する様子は、西東京クラブが元気である証拠。勿論、前述の悩みが当クラブにおいても「問題なし」の訳もなく、日々皆で知恵を出し合っていくしかありません。が、私個人の（あくまで）感想ですが、余り悲観しておりません。楽しいのです。会の皆様と過ごす時間が。受入・渡航・イベント・ミーティング・会食etc. 楽しいクラブの未来は明るい!!と信じます。大西さん・石田さんの発足当時の苦労話（楽しい思い出話）、もっともっと拝聴したかったと心残りでした。クラブの役員は、山本さん、高石さんが退任され（お世話様でした）、八塚さん（事務局）、稲垣さん（会計）が新たに理事に選任の一方、高垣会長以下他の役員、各係リーダー等は留任です。



事務局報告（今村さん）



会計報告（高石さん）



「生きることは学ぶこと、学ぶとは楽しみ」、
 「一生勉強一生青春」「学びなおし」など
 「人生100年時代」です。残された人生20年
 から30年、いや40年の方もいます。ポーっと
 していると5歳の「チョコちゃん」にしかられ
 ます。春のイベントは高尾駅から徒歩10分の
 多摩森林科学園で桜の野生種、長い歴史を持
 つ栽培品種、開花時期、桜の基礎知識を学び
 ました。勿論、多くのいろいろな桜を愛でる
 ことが出来ました。ここで一句？「エフエフ
 愛心ときめく櫻観て」。美しい花を観賞した
 後は、電車とバスで「うかい亭鳥山」に移動、
 美味しい料理を愉しみました。



桜並木を背に

庭内では琴の音色が流れていて、また非常に趣のある建物でした。夫々離れの間になっていて畳の部屋で椅子に掛けてゆっくりと談笑しながら食事を愉しみました。本当に美味しい料理でした。食後は敷地内にある庭で「水芭蕉」を鑑賞することも出来ました。おたまじゃくしも元気に泳いでいました。多くの方に参加頂きありがとうございました。天気にも恵まれ怪我人もなくイベント担当3人ホッとしました。

新会員紹介： 小川 志保さん

町田市在住の小川です。主人と娘2人（中学2年、小学5年）、スタンダードプードル（7歳）とミニチュアプードル（11歳）で暮らしています。趣味は英会話、バスケ、マラソン、マリンバ演奏です。最近ゴルフを始めました。まだレッスンのみでコースに出たことはありませんが...。とにかく体を動かすことが大好きです。海外に興味を持ったのは、最近です。上達しない英会話ですが、楽しみたいと思っています。よろしくお願いたします



新会員紹介： 飯田 博子さん

福岡在住の友人の誘いで4年程長崎クラブの会員でしたがやはり遠すぎて日頃の活動に参加出来ませんので今年の2月からこちらのクラブの会員となりました。今までニュージーランド語学研修とオーストラリア語学研修に参加してホストのみならず現地クラブ会員さんに大変良くして頂いて楽しい思い出が沢山出来ました。横浜在住ですのでこれからは受け入れのツアーなどで交流が出来たらと思っています。趣味は音楽鑑賞、ゴスペルクラブ、水泳、旅行、英会話などです。どうぞよろしくお願い致します。



FF西東京設立から今日まで

佐原泰子（故初代会長夫人、元会長）

1980年初頭に佐原勇はフレンドシップフォースの記事を雑誌で読み活動に参加しましたが、それまで官庁主導だった組織が民間主導となり、83年2月の総会にて会員推挙により現東京クラブ初代会長となりました。86年にはアジア初個人 International Volunteer of the Yearを受賞。88年東京クラブがClub of the Yearを受賞。1989年地元である“東京の西部地区がより身近な国際交流の拠点となるように”との思いから大西宣也氏と協力してFF西東京クラブを設立しました。その頃よりFFの受け入れを中心に幅広い受け入れをと、韓国サッカー少年団受け入れや外務省在外公館現地採用職員のホームステイを引き受けるなどの活動もありました。勇は1999年、志半ばにして倒れましたので、会長の大役は私が暫し務めさせて頂きました。現在では渡航にも積極的に参加される会員が増えてきました。この30年間で世界が驚くほど近くなり、私たちの活動もほんの小さな活動ですが、少しでも文化交流や国際親善のお役に立つクラブとして継続できれば大変嬉しい事です。



佐原夫妻とロザリンカーターさん

初めての渡航交流

榎川由紀子（故元会長夫人）

西東京クラブ設立から10年にして初めての渡航交流が2002年10月5日からAustraliaのMurray Bridgeに1週間、New Castleに2日間の日程で実施されました。佐原泰子会長、榎川善一E.D.のもと、東京クラブからの参加者を含め総勢17名が成田に全員集合の団体行動でした。現地との入念な打合せ、3回開催の説明会資料等からは当時の西東京の意気込みが強く伝わってきます。民間大使としての自覚を忘れない様にと少し緊張気味の初ステイでしたが、雨水を大切に貯めて使う生活や水平線の稲妻をワイン片手にEnjoy the storm!と言う余裕を学んだ交流でした。ゴルフに参加した会員の一打が芝生を横切るカルガモ一家を直撃した事件は笑うに笑えませんが、忘れられないエピソードです。



ユーカリ植樹



クラブ設立の頃

大西宣也（町田市会議員、元副会長）

F F 西東京設立時のステイ先の確保は大変でした。フレンドシップフォースのことを新聞で知り、こんな国際交流もあるものかと驚きました。早速、東京クラブ会員になり、アメリカ、ノースカロライナに親子5人でホームステイしたのが35年前です。子供は言葉が分からないにも係わらず、学校で元気に遊んでいる姿はとても驚きでした。その時のご縁で佐原ご一家と家族ぐるみのお付き合いが始まり、約4年後町田でもクラブを作ろうと相談し、いろいろな困難を経て、西東京クラブを設立しました。設立したのはいいけれど、最大の課題はステイ先です。当時はまだ外国人を泊める家庭などは非常に少なく、お願いしてもみんな尻込みの状態でした。ましてや1週間などもってのほかの状態です。

まず外国人に慣れることが必要でした。日本外務省の在外公館職員の日本研修を2泊3日ぐらいから始めてもらい、漸く受入れて戴けるようになりましたが、数が足りません。あらゆるつてを求めて走り廻りました。それでもまだ足りず、友人や同僚議員に半強制的に受け入れて頂いたことが昨日のようです。現在の西東京の隆盛を見るにつけ、隔世の感があります。



外務省在外公館研修受入



西東京クラブ、1989年から2001年までの受入実績

年・月	国・クラブ名	人数	受入責任者	会 長
'89.1	西東京クラブ発足			
'91.4	アメリカ、ワシントン・コロンビアカスケード	21	佐原勇	佐原勇
'92.5	アメリカ、ミズーリー・セントルイス	21	佐原勇	佐原勇
'92.9	外務省在外公館現地職員研修受入		佐原勇	佐原勇
'93.9	外務省在外公館現地職員研修受入		佐原勇	佐原勇
'94.4	アメリカ、ノースウェストミシガン	10	佐原勇	佐原勇
'95.4	韓国、ソウル	25	佐原勇	佐原勇
'96.9	イスラエル、ラアラナ	28	佐原勇	佐原勇
'97.11	オールアメリカ、サンクスギビング交流	15	佐原勇	佐原勇
'98.5	ドイツ、ブランデンブルグ	19	佐原勇	佐原勇
'99.5	ニュージーランド、カピティコースト	25	佐原勇	佐原勇
'00.3	韓国、南ソウル	22	石田充	佐原泰子
'01.3	ウクライナ、キエフ	21	石田充	佐原泰子

お知らせ

2019年度活動予定

7月7日（日）13:00 – 17:30
関東ブロック会議、With Youさいたま
（ホテルブリランテ武蔵野）

7月27日（土）12時 – 15時
西東京クラブ設立30周年記念パーティ
ホテル町田ヴィラ

10月27日（日） - 28日（月）
日本大会、グランディエールブケトーカイ（静岡市）
静岡クラブ主催

11月3日（日） - 9日（土）
米国・グレーターオーランドクラブ受入
HC 戸ヶ崎正次、サブHC 石井健二

西東京クラブはクラブ設立30周年を記念し、このたび添付写真のロールアップ式バナースタンドを作りました



編集後記

本号では、平成から令和に年号が移った2019年前半の主要な行事として、豪州パースクラブ渡航、総会、春の多摩森林科学園近隣の散策と食事会のほか、クラブ設立30周年記念特集、その1として、クラブ設立の経緯、受入確保の苦労、またクラブ設立約10年を経て初めて西東京としての渡航を、佐原泰子さん（佐原勇初代会長夫人、第2代会長）。大西宣也さん（初代副会長）、柳川由紀子さん（第3代会長夫人）、それぞれに記して頂きました。佐原さんも、大西さんも家族ぐるみで、クラブ設立に先立ち一緒に渡航を楽しむ一方、クラブ設立後は、現在では考えられない程大勢のホスト確保に奔走された様子に頭が下がります。

（石井健二）

令和になり世間も私生活もなんとなく慌たしい気のしている、例によってデザイン担当の中川です。今回の渡航はもうお馴染みの？オーストラリアです！写真から飛び出てきそうな青い海とみなさんの笑顔が眩しくて素晴らしいと思いました。FF西東京ができて30年...みなさまの不断努力と友情の結果ですね。私が初めて海外に行ったのもその頃で、当時と比べれば海外も身近になっていると思います。FFの活動を通して、時間距離だけでなく人々との距離も縮まれば良いと思います。私ごとですがこの前娘が生まれました。令和の時代がどのような時代になるか皆目見当もつきませんが、平和な時代になってくれることを願っております。

（中川貴文）

発行日：令和元年7月 第29号
発行者：ザ・フレンドシップフォース・西東京

町田市つくし野4-29-17
Tel/Fax 042-796-6797

ホームページ
担当：西村千織、石井健二
<http://ffw-tokyo.org/wp>